



月主題 月のねがい

1月の予定

野毛山幼稚園

今月の聖句

イエスは知恵が増し、背丈も伸び、
神と人ともに愛された。

ルカによる福音書2章52節

今月の聖書の言葉は誕生会において読んでいる箇所です。聖霊によって身ごもってお生まれになったイエスさまは、ヨセフ、マリアの両親に育てられ、私たちと同じように年月を重ねて人として歩まれました。イエスさまは神さまの子どもですが、正しい人、大工のヨセフの息子として成長されました。

知恵が増し（知的な問題・知育）

知識を広め、伸ばし、技能を高める 生きる知恵を身につけること。（よく《知識》と《知恵》の違いを言われますが、知識とは物事について知っていること、その内容をさすのに対し、知恵は物事を知っているだけでなく、それを活かす能力のことを言います。）

背丈も伸び（身体的な問題・体育）

身体の健全な発育をはかること

神と人ともに愛された（心の問題・薫育・徳育）

人間が持っている性質を養い人格を高めること

少年イエスは、神さまとの関わりの中で、心も体も成長し、神さまの恵みに包まれていました。子どもたちがその子らしく成長することを心から祈ります。

| 主題 | 年少ばら組 | 年中くるみ・年長すずらん組 |
|---------------|--|--|
| じっくりと (年少) | クリスマスにお生まれになったイエスさまを身近に感じながら聖書のお話を聞く | クリスマスの感謝と喜びの余韻の中、聖書に記されたイエスさまの子ども時代からの生涯に心をとめて、礼拝する |
| 広がる (年中長) | 伝承遊びや季節の遊びなどを通して、友だちとじっくり過ごすことを楽しむ 空気や風、水などの冷たさ寒さを感じながら、戸外に出て自然の変化を見つける | 友だちとアイデアを出しあい遊びをひろげていくことを楽しみながら、じっくりと遊ぶ 吐く息の白さ、空気の冷たさ、霜、氷、雪、木々の冬芽などから冬を五感で感じる |

| 日 | 曜 | 予 定 | 備 考 |
|----|---|------------------|-------------------------|
| 7 | 水 | 3学期始業 | 平常保育 (保護者の集まりはありません) |
| 8 | 木 | おもちつき | 11時40分降園 |
| 12 | 月 | 成人の日 | 休園 |
| 14 | 水 | 1月誕生会 | 11時30分降園 |
| 21 | 水 | 大人と子供のための読み聞かせの会 | 希望者参加 詳細後日 |
| 27 | 火 | 年長すずらん組 食育の会 | |

ランチ 13日(火)から



| 年 少(ばら組) | 年 中(くるみ組) | 年 長(すずらん組) |
|--|---|---|
| 思いきり身体を動かして遊ぶ。 追いかけたり、追いかけられたりすることを楽しむ。 乗り物遊びなどを通して、順番や簡単なルールを知る。 自分の思ったことや感じたことをことばや態度で伝える。 お正月のあそびを楽しむ。 冬の衛生に気をつける。 冬の自然にふれる。 曲にあわせて歌ったり、踊ったりする。 たくさんの絵本や紙芝居に親しむ。 おもちつきを経験する。 楽しく工作遊びをする。  | 思いきり身体を動かして遊ぶ。 みんなで一緒に活動することの楽しさを知る。 お正月のあそびを楽しむ。 新しくなったカレンダーに興味を持つ。 友だちとのつながりを深める。 おもちつきの経験をする。 冬の自然に関心を持つ。 冬の衛生に気をつける。 たくさんの本や紙芝居に親しむ。 楽しく工作遊びをする。  | 冬休み中の経験をわかるように話す。 自分の考えを相手にわかるように伝える。 寒くても戸外に出て身体を動かして遊ぶ。 お正月のあそびを楽しむ。 おもちのできるまでの様子を見る。 おもちつきの経験をする。 冬の自然に興味、関心を持つ。 さまざまなことに目を向け、気づく心を持つ。 わたしたちはいのちをいただいて生かされていることを感じ、感謝の気持ちを持つ。 わからないことや不思議に思ったことを調べる。 楽しく歌ったり、ことばの意味を考えながら表現したりする。 新しいカレンダーに関心を持ち、一日一日を大切に過ごす。 |